

輸出事業計画

※申請者名：(株)堀口園、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・主な販売先である大手飲料メーカーを通じて輸出用原料の販売を行っている。海外で需要が増加している抹茶（原料は碾茶）需要に対応するため、減農薬や有機栽培も積極的に行い、契約生産家と共に団体で国際的な認証を取得するなど、産地を巻き込んで輸出に向けた取り組みを行っている。また、令和7年より自社で直接輸出を開始した。

【課題】

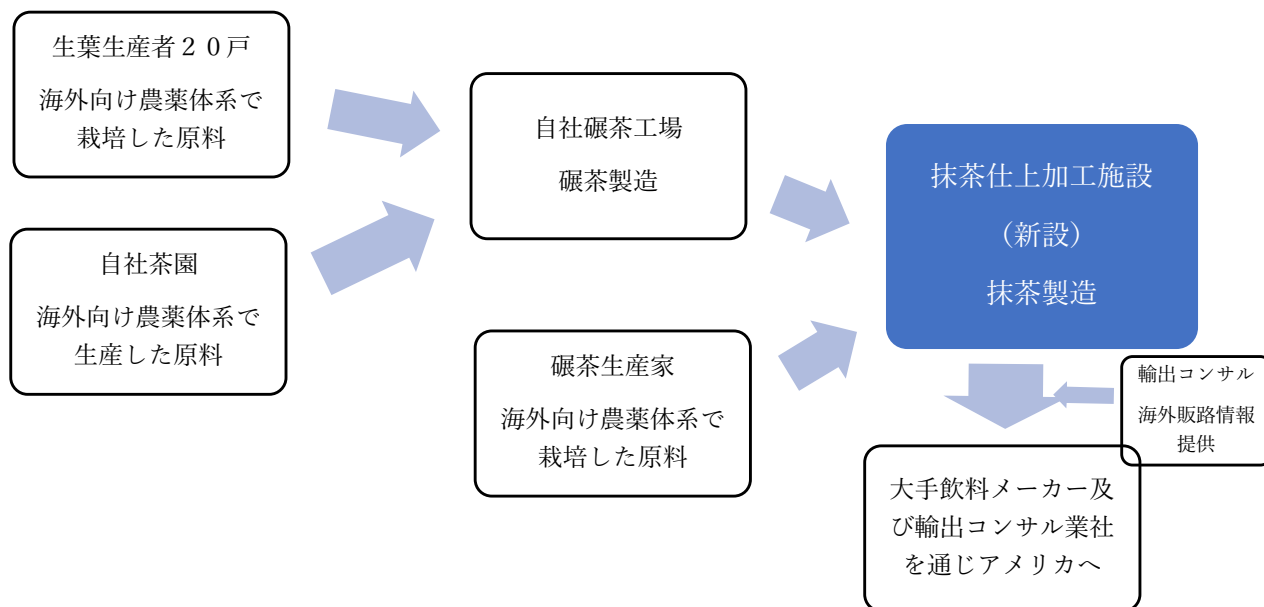
・海外での抹茶需要の更なる拡大を受け、その需要に対応するための抹茶加工施設が総体的に不足していること、また、取引先から抹茶での取引拡大に促されていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

【取組】

抹茶仕上加工量を増加させるために、抹茶仕上加工施設工場を新設する。今後も増加していくと予想される抹茶需要に対応できるように、抹茶生産の拡大に取り組む。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

茶	現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)
輸出額(千円)	915,440	2,961,600
輸出量(t)	503.5	800
輸出先国	アメリカ	アメリカ